

人材育成基本方針

広島の子どもたちが「心身ともにたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮できるよう、教職員一人一人が資質能力を向上させるとともに、管理職のリーダーシップのもと、チーム学校として組織的・効果的な取組を行う必要がある。このため、広島市教員研修計画に基づいた、教育に関する専門的事項についての研修等を実施し、学校の教育力を高める人材を育成する。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

「指標※」は、教員等が研修を通じて資質の向上を図る際の目安とするとともに、更に高度な段階を目指す手掛かりとなるもの。また、教員等の資質の向上を担う教育委員会と教員養成を担う大学等が共通認識を図り、身に付ける資質能力を明確化したもの。※ 教育公務員特例法の改正(H29.4.1 施行)に伴い策定、R4.12に一部変更

教員研修計画

校長及び教員が「指標」を踏まえ、それぞれのキャリアに応じて研修や自己啓発に取り組み、意図的・計画的に資質能力の向上を図ることができるよう、経験年次ごとの研修内容等を具体的に示したもの。

また、主任・主事等職務別の研修や、授業づくり・学校づくりの推進者育成のための研修、自己の課題に応じ選択して受講する研修についても示している。

